

『ちんどん屋』出版記念トーク

仮屋崎郁子×サラ・デュルト

ちんどん屋とは 何ぞや？



2025

1/19 sun

19:00 - 21:00

@舩書店

『大阪大学総合学術博物館叢書 21 ちんどん屋』

宣伝・広告と芸能のハブとなる生業』

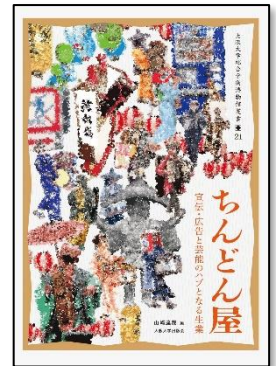
山崎達哉 編・著

仮屋崎郁子, 横田洋, 橋爪節也, 輪島裕介, 伊東信宏, 園田郁, 鈴木聖子 著

発行元 大阪大学出版会

価格: 2,530 円(税込) A4 判・96 ページ

<https://www.osaka-up.or.jp/book.php?isbn=978-4-87259-820-9>



鉦や太鼓を打ち鳴らし、賑やかに街を歩くちんどん屋さん。「勝手に塩屋市」でご覧になられた方もいらっしゃることでしょ。あの音が近付いてくるとなんだかワクワクするけど、ちんどん屋さんって、いったい何者？大道芸なん？それともミュージシャン？「あほばかちんどん屋」って悪口もあるけれど？！

塩屋商店会事務局員として「勝手に塩屋市」にはちんどん屋さんが不可欠！と思うサラ・デュルトさんを聞き役に、現役のちんどん屋である仮屋崎郁子さんのトークで、ちんどん屋の歴史と実態をのぞいてみましょう。演奏もあり！



仮屋崎郁子 Ikuko Kariyasaki

熊本市生まれ。阪神淡路大震災を機に神戸大学で発生したボランティア団体で、いつの間にかちんどん屋のようなことをやることに。予想以上の奥深さにはまり、親の反対を押し切り大阪のちんどん通信社に入る。

シオヤコレクション澤井まりとは仕事を共にし、全日本チンドンコンクールにも一緒に出場した仲。現在は仕事の傍らちんどん屋の歴史も調査中、本『ちんどん屋』にその一部を発表している。

塩屋はちんどん屋にとってとても幸せなまちだという実感。



サラ・デュルト Sara Durt

塩屋育ち。大阪大学大学院修了(西洋美術史)・東京大学大学院修了(文化資源学)。大原美術館学芸員として10年間勤務。旧グッゲンハイム邸を拠点に塩屋の町を遊ぶシオヤプロジェクトのメンバーとして、塩屋文学全集の編纂等を担当。明治以降外国人の多く移り住んだ塩屋と今に続くまちの特性を考える塩屋研究会、塩屋町9丁目市営住宅跡地を耕すSio9活動などに関わっている。塩屋はちんどん屋さんにびったりなまちだと思う。

『ちんどん屋』出版記念トーク ちんどん屋とは何ぞや？

日程 2025年1月19日(日) 19:00 - 21:00 (受付開始 18:30)

会場 舩書店

トーク登壇者 仮屋崎郁子×サラ・デュルト

参加費 ①トークのみ(ドリンク付)……1,500円

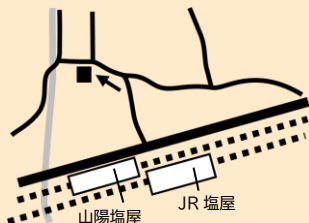
②トーク(ドリンク付)+『ちんどん屋』(定価 2,530円)……3,500円

①②いずれかをお選びください。

定員 20名(要予約)

申し込み 舩書店店頭またはメール(moyaibooks@gmail.com)にて

メールの方は、件名を「1/19 ちんどん屋トーク」としたうえ、お名前・人数・電話番号を記して申込みください。こちらからの返信をもって予約完了とさせていただきます。



神戸市垂水区塩屋町 3-8-2 海角1階
JR/山陽電塩屋駅より徒歩2分
問合せ TEL 080-5227-5270 (舩書店・有吉)